

公益社団法人砥粒加工学会北陸信越地区部会報告

令和7年度 第2回研究・見学会を終えて
～ 中村留精密工業株式会社（石川県白山市）～

1. はじめに

去る11月6日(木)に北陸信越地区部会企画として、令和7年度第2回研究・見学会が石川県白山市にある中村留精密工業株式会社において開催された。その概要を以下に報告する。

2. 会社紹介・技術紹介および新工場「MAGI」の見学会

中村留精密工業 岩瀬 比宇麻 氏より会社紹介・技術紹介をしていただき、工場見学を行った。2024年に本格稼働を開始した新組立工場「MAGI」では、自動搬送装置（AGV）や自社開発の配膳管理システムを導入し、作業者が運搬や部品探などの付帯作業から解放され、組立作業に専念できる環境が整備されていた。生産のユニット化と搬送や在庫管理の自動化により、多品種・短納期のニーズに対応した製造リードタイムの短縮が実現されていた。

工場見学の道中では、揺動切削による切粉処理改善の実演などもあり、活発な質疑応答が行われた。

3. 特別講演

株式会社牧野フライス製作所 特別顧問・フェロー、東北大学共創戦略センター 特任教授（名誉教授）の厨川 常元 氏より「技術革新が切り拓くものづくりの新時代 研究と社会実装の視点から」と題して特別講演が行われた。

同氏の半世紀にわたる研究と社会実装の事例をもとに、究極の形状精度や機能発現による高付加価値加工の可能性が紹介され、さらに、噴射加工を活用した成膜技術や3次元積層造型技術の歯科治療への応用についても解説された。

技術革新が社会に与える影響を議論し、持続可能なものづくりの方向性を探るとともに、研究・開発の魅力を共有し、これからのものづくりのあり方や求められるキャリアとスキル、人材育成についての提言など、示唆に富む内容で参加者から多くの質問があり、講演者と活発な議論が行われた。

4. おわりに

42名の方にご参加いただき、大盛況となった。若手の参加を促し、北陸信越地区の活性化に繋げる狙いから今回は学生の参加費を無料とし、2名の学生の参加があった。今後はさらに地区部会活動の認知を広め、参加者を増やしていきたい。

研究会終了後、金沢駅近郊に移動し、自由参加での技術交流会を約2時間開催した。参加者は31名となり、こちらも盛況で、講師や参加者との交流ができた良い機会となった。

地区部会としては、令和8年3月10日に福井県越前市の武生特殊鋼材株式会社に開催予定の地区部会大会・研究見学会に向け、運営委員会メンバーとともに力を合わせて進めていきたい。

（文責：中村翔太）



図1 地区部会長 西野入 隆 氏



図2 中村留精密工業 岩瀬 比宇麻 氏



図3 牧野フライス製作所
東北大学 厨川 常元 氏



図4 副地区部会長 川久保 英樹 氏



図5 研究会の様子



図6 技術交流会の様子